

topics



1 お米deつなぐ助け愛プロジェクト2023



2 だんない 他県視察受け入れ



3 第16回かいばら福祉バザー



4 年賀状

1 お米deつなぐ助け愛プロジェクト2023 進捗報告

生活に不安を抱える方へお米を分配し、支援する「お米deつなぐ助け愛プロジェクト2023」で集まったお米を個人や支援団体へ配布を進めています。

支援団体へ配布されたお米は、丹波市子ども若者サポートセンターでは利用者の自立支援に向けた取り組みに、新井自治協議会では子ども食堂の実施に、恩鳥福祉会ではグループホーム利用者の生活支援に活用されています。新型コロナウイルス感染拡大を機に、2020年から始まった「お米deつなぐ助け愛プロジェクト」。4年間で集まったお米の総量は5,139kg、地域の想いや力を強く実感する取り組みになっています。

本取り組みに関わらず、今後も個人の生活課題、地域生活課題の解決に向け、地域の皆さま、関係機関と連携し進めていきますので、引き続きご協力をお願いします。また随時、希望者・支援団体へ配布を行っています。お米の受け取りを希望される方は、お気軽に社協柏原支所までご連絡ください。



▲受渡の様子

2 他県視察受け入れ（注文をまちがえる喫茶店だんない）

注文をまちがえる喫茶店だんないの取り組みについて、全国フォーラムや北海道での研修等、他県・団体からの講演依頼が入っています。

12月の開店時には北海道中富良野町社協の方や、鳥取市中央包括支援センターの方が視察に来られました。認知症当事者がいきいきと活躍するカフェの裏側、開店に至るまでの当事者・家族との信頼関係構築や地域・専門職連携、そして企業の社会貢献や高校生の参加、相談所としての機能面にも着目され「研修でお聞きしインスタグラムも見て、やっと来れました。誰もが気軽に入れるとても温かい場所で本当に良いカフェでした！」「鳥取でもだんないに負けない心地よいカフェを創りたいです！」と嬉しい言葉を頂きました。

次回は3月9日開店です。皆様のご来店をお待ちしております。



### 3 第16回かいばら福祉バザー

去る12月3日（日）に柏原福祉センターにて第16回かいばら福祉バザーを開催しました。

コロナ禍により、やむなく中止がつづいておりましたが、令和元年以来4年ぶりの開催となりました。

柏原支所運営協力委員、柏原民生委員児童委員・主任児童委員、ボランティアグループポタンの会の皆さまに、前日は品物の陳列と値付け、当日は会場の接客スタッフとしてお力添えをいただきました。

また、地域の皆さまから日用品や野菜類など、たくさんの品物を提供いただき、品物の収集と搬入を各自治会の自治会長様・福祉委員様にご協力いただきました。

開店を待つお客様の列もできており、たくさんの皆さまにご来場いただき、大盛況の福祉バザーとなりました。

今回のかいばら福祉バザーでは127,350円の収益を得ることができました。この収益金は、来年度の地域福祉活動事業に活用させていただきます。

ご来場いただいた皆さま、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



### 4 個性豊かな年賀状が完成！

丹波市社協では、市内のお一人暮らしの高齢者の方に、暑中見舞いと年賀状をお送りする事業を行っており、柏原地域では、暑中見舞いは崇広小学校と新井小学校の児童の方、年賀状は柏原中学校の生徒の方に作成いただいております。対象の方の中には、毎年この書状を楽しみにし、お返事を下さる方もいらっしゃいます。

2024年は辰年、カッコいい辰やかわいらしい辰など、様々なイラストを描いていただき、個性豊かな年賀状が完成しました！

ご協力いただいた柏原中学校の皆さま、ありがとうございました！



### 5 食糧支援でつなぐ“たすけあい”

地域の皆さまのご協力のおかげで、ご提供いただいた多くの未開封の食料品やティッシュペーパー等を、生活にお困りで食料品を必要としている高齢者世帯や子育て世帯等153世帯（柏原地域は32世帯）へ、12月14日と15日にお渡しすることができました。誠にありがとうございました。

